

越境地域政策研究拠点の運営体制

越境地域政策研究拠点では、越境地域計画コア、越境情報プラットフォームコア、越境地域モデルコアという3つの研究コアと人材育成部門で構成され、各部門が連携して「越境基盤研究」に取り組んでいる。

同時に、越境地域政策に関する2種類の公募研究を実施している。一つは、越境地域政策研究の基盤づくりを目的とした「地域間交流研究」で、越境地域政策研究の基盤づくりを目的として、特定の越境地域(国内・国外)における産・官・学の研究者や行政関係者によるシンポジウム・研究会等の研究交流事業を対象としている。

もう一つは、全国の研究者を対象とした越境地域政策に関する「一般共同研究」である。これらの公募研究と越境基盤研究との共同研究および研究交流によって「研究者コミュニティ開発」、「越境地域政策研究拠点の形成」を目指している。

なお、学外の委員を含む「運営委員会」および「共同研究公募委員会」、また拠点活動のチェック機関として「活動評価外部委員会」をそれぞれ組織し、「三遠南信地域連携研究センター会議」による拠点活動を促進している。

